民児協 あこう

支えあう 住みよい社会 地域から

第 66 号 令和 7 年 春号

春らんまん

民生委員児童委員信条

- 一、わたくしたちは、隣人愛をもって、社会福祉の増進に努めます。
- 一、わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。
- 一、わたくしたちは、誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努めます。

- 一、わたくしたちは、すべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます。

- 一、わたくしたちは、常に公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます。

児童憲章

- 児童は、人として尊ばれる。
- 児童は、社会の一員として重んぜられる。
- 児童は、よい環境の中で育てられる。

民生委員・児童委員 各地区活動報告

赤穂地区「光り輝く三世代交流」

赤穂地区では、クリスマスに合わせて三世代交流事業「スクールイルミネーション 2024」が赤穂小学校で行われました。多くの方に協賛を頂き、中庭や校庭には華やかなイルミネーションが輝き、家族で来場した2千人以上の方を和ませました。

民生委員・児童委員は、クリスマスツリーと光のトンネルを設置し、サンタさんやトナカイさんになり、子どもたちに光るブレスレットとお菓子を配布し、喜んで頂きました。

御崎地区「その電話詐欺ですよ！」

御崎地区では、御崎駐在所のおまわりさんにお越しいただき「特殊詐欺と交通ルール」についての研修をしました。「相手の電話番号の初めに+がついていたら詐欺です」など詐欺の電話についての話や引っかけられない方法について説明の後、交通ルールや交通事故の起きやすい場所、実際に起きた交通事故の話を行いました。身近な内容なので皆さん真剣に聞きその後、次々と質問をしていました。

城西地区「地域のみなさんに喜ばれる活動をこれからも」

城西地区は、友愛訪問を6月と1月に2回、夏期の安否確認、有料給食サービスを8回、ふれあいまつりへの出店、三世代交流もちつき大会（自治会により配布のみのところも）などの活動を実施しました。給食作りや「ふれあいまつり」のみたらし団子作りでは、食中毒やノロウイルス対策に、細心の注意を払い、改善を重ねてきました。また、物価高騰の影響は大きく、献立や材料の調達に頭を悩ませることが多かった一年でした。「おいしかったよ」の声に元気をもらいながら、これからも地域に根ざした活動を頑張っていきます。

坂越地区「復活しました市外研修！」

コロナ禍に中止していた民生委員・児童委員、地域福祉推進委員合同での市外研修会をやっと復活させ、今回は津山へ行ってきました。坂越公民館に集合し貸し切りバスにて出発。津山市役所において、津山市高齢介護課の方から「住民が進める介護予防事業『津山モデル』」の説明と実際に行っている体操を参加者全員で体験しながら、丁寧に教えていただきました。研修後、「聚楽園」という庭園を見学し、昼食を美味しくいただき帰ってきました。久しぶりの市外研修を無事に終了し、とても有意義な一日でした。

塩屋地区「活動報告」

初年度より軽いフットワークでの民生活動を目指して、様々な見直しをしてきました。給食づくりが軌道に乗り、メンバーの提案で掛け紙のデザインを募集し、「しおや」の文字を盛り込んだ素敵なものに仕上がりました。友愛訪問夏の素麺、冬の巻きずしをお届けし喜んでいただきました。毎年賑わう「ふるさとまつり」では、今年もげんざいの販売をしました。まずまずの来客で各委員も安堵しました。反省点を踏まえて来年につなげます。

高雄地区「給食サービス・友愛訪問：ありがとう」

民生委員・児童委員は1期3年で、今期も3年目に入り、12月が改選になります。推進委員の手作りの給食サービスや友愛訪問で何となく、いつも「美味しかったよ」「ありがとう」と言葉を頂いています。対象者の方の中には、私たちの同級生の親もおられ、小さい頃は本当によくお世話になりました。今、私たちが元気で過ごせているのも皆さんのおかげです。こちらこそ「ありがとう」。私たちの父母の分まで元気で長生きしてくださいね！残り半年、改選までよろしく！

西部地区「活動報告」

西部地区では、まちづくり連絡会・地区自治会・いきいきサロンなどの各種団体と協力して民生活動を展開しています。4月は春の一人暮らし老人花見交歓会から始まり、友愛訪問、百歳体操、認知予防研修、防犯研修など様々な活動を行っています。高齢者の方はなかなか多くの人と接する機会がなく参加者の笑顔は心を豊かにしてくれます。西部地区では少子・高齢化が顕著であり、会員・参加者の減少が深刻になっております。今後、より地域と密着した見守りと訪問活動が重要になると感じています。

有年地区「民生委員・児童委員活動報告」

有年地区では、ふれあいふるさとまつりに併せて「福祉バザーと甘酒の無料配布」を実施しています。バザーの品物は、地域の皆様のご理解とご協力を得て多数集まりました。日用品を中心に色々豊富な品揃えで、お買い得感もあることから多くの方々にぎわい、楽しまれている様子でした。甘酒を飲みながら、よりコミュニケーションを深めてもらえる場になればと思っています。福祉バザーの売上金は、地域福祉充実のため使用させていただきます。

尾崎地区「活動報告」

みなさんにあいたい委員は、住民同士のつながり、孤立されている人への支援、関係者間の連携、障がいのある方への関わりと近所での助け合い、子どもの成長に対する支援などのつながりづくりを地域全体で取り組む等、「地域福祉を進める事で地域住民が住み慣れた所で安心して生活できる事」を基に全委員が目指しています。添付しました写真のお弁当は月1回（猛暑月を除く）約120食を手作りし、お届け時のふれあいを大切に見守り活動を行っています。

広報部会
広報部部長として活動させていただき、常に頭の隅にあることは、「民児協あこが」に掲載する記事の内容でした。簡潔に、読んで頂きやすくするには、どうすればいいのかが、常に頭の隅から離れませんでした。ある時、迷った時には「原点回帰」「基本に立ち返る」のみだと気づきました。民生委員として委嘱いただいた時もあり、様々な役割を引き受けさせていただき、判断に迷った時など、今では、常に頭の中に浮かぶ言葉です。「どんな思いで引き受けたか」「何をどうやって伝えたいのか」その時々で感じた思いを、頭の隅に刻んでおくことが、いまに役立っているように感じます。今後とも、皆様に叱咤激励を頂きながら、読んで頂きやすい紙面づくりを心掛けていきます。㊀

児童福祉部会

令和6年度は、8月に市内9つのアフタースクールを地区ごとで訪問、9月には市外研修として県立こどもの館、人と防災未来センターを見学しました。

アフタースクール訪問では、近時課題の「児童の居場所」として、種々の困難があるものの課題解消への良い方策かと思いました。

令和7年度は、赤穂市の子ども施策について学ぶとともに、児童に関する施設訪問を行い、児童福祉の知見を深めていきたいと思っています。

こんにちは 主任児童委員です

赤穂市には、各中学校区に1人ずつ計5人の主任児童委員がおり、児童福祉に関することに取り組んでいます。

その活動は、大きく3つに分けられます。1つ目は、子育て支援。

月に一度、各児童館を回って、乳幼児を対象とした絵本の読み聞かせや簡単なおもちゃ作りをしています。

その他、保健センターから依頼された赤ちゃんがいる家庭を訪問したり、しあわせフェスティバル等の福祉イベントに参加しています。

2つ目は、個別支援。

関係機関と連携し見守りを必要とする家庭の支援を行っています。

3つ目は、児童の健全育成。

小学校等での「あいさつ運動」や児童、生徒に関わり会議、各学校園の行事に参加しています。

首から薄黄色のネームをかけて活動しているので、見かけたら声をかけてもらえると嬉しいです。

障がい者福祉部会

社会的には少子化+高齢化、自然界では温暖化などの進行によりその影響が身近なあちこちに顕著になってきました。二期目 Executive Order もその数の多さと内容の過激さで注目されています。

聴覚障害のある女兒が交通事故で死亡し逸失利益が争われた損害賠償請求訴訟の控訴審で大阪高裁は1月20日「健常者と同等」との判決を下し、また大阪堺市は白杖を備蓄する取組みを始めました。兵庫県も通常時と緊急時とで異なる赤色回転灯パトを12台導入。

部会では人と防災未来センターの個人映像デジタル化に注目して参ります。

高齢者福祉部会

高齢者福祉部会では、高齢者疑似体験をして「高齢者の体の状態を体験しよう、高齢者の不便さを知り、支援方法を学ぶ」体験学習を実施しました。手足の関節に錘をつけ、目には見えにくいゴーグルをつけ、体は九の字になるように紐で制限され杖をついて介護者について歩き、階段の上り下りを体験しました。大変な思いをして日々生活していることに思いを巡らせて支援方法を考えましたが今後発生が予想される南海トラフ巨大地震が発災時に避難方法を考えなくてはなりません。

編集後記

新年度がスタートして新しい風に馴染んできた頃でしょうか。

新緑の息吹を感じながら「さあ、今日も頑張ろう！」という思いで皆さんに笑顔をお届けできる。

紙面作りに励んでいきます。